



立ち上げ、かかりつけ医

(PPEして話をよく聞き、採血・レントゲン。先ずはコレ)

新型コロナウイルス感染症を意識したかかりつけ医の外来診断手順

～新型コロナウイルス感染症を恐れ過ぎず、しっかりとかかりつけ医の役割を果たす～

かかりつけ医として当院
で対応な検査等の範疇

感冒症状

①のみ
または
なし

*** 肺炎を疑う症状・身体所見**

- ① 発熱症状（悪寒）、倦怠感
- ② 呼吸苦、頻呼吸
- ③ 聴診にてラ音捻髪音聴取
- ④ 低酸素血症（SAT<93%）

*** 通常の上気道炎に対する対応**

- ・急激な悪化に対する注意説明
- ・3日程度自宅療養、経過観察

再診は電話も活用
(コロナ期間特別)

症状が4日以上改善しない

異常なし

①と②③④の
いずれかあり

*** 肺炎を疑う検査**

- ① 血液検査
(WBC・白血球像・CRP)
- ② 胸部X線検査

*** 問診のポイント**

- ・インフルエンザは急な発熱
- ・新型コロナは感冒症状、消化器症状が1週間程度続いてから悪化（多くは軽快）
- ・渡航歴、濃厚接触歴、クラスター暴露歴の聴取は重要

*** 臨床検査が困難な場合**

問診、身体所見から肺炎が強く疑われる場合には新型コロナ外来へ紹介

*** 感染防御策**

- ① 時間的・空間的分離
- ② 患者・医師はマスク装着
- ③ 診療後手洗い
- ④ 換気
- ⑤ アルコール消毒

あり

A. WBC↑・顆粒球↑
CRP↑

AかつBが
当てはまる

*** 通常肺炎の治療、自宅療養**

- ・急激な悪化に対する注意説明
- ・3日程度自宅療養、経過観察
- * 呼吸機能低下、高齢者は入院

A、Bが部分的にしか
当てはまらない

新型コロナ外来：PCR検査

直接連絡を調整中、現在は受診相談窓口へ電話

あり

症状が4日以上改善しない